

2023年1月16日

踏切と～まれ！

『厳寒季の踏切事故防止キャンペーン』を行います！

JR北海道では、1月21日から1月30日まで、凍結路面でのスリップ等による踏切事故の防止を図るため「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

これから本格的な厳寒季を迎えるにあたり、道路はますます滑りやすい状態になることが想定されます。そこで「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」では、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」「早めのブレーキとスピードダウン」など、駅及び列車内の車内放送等により、安全通行をドライバーに呼びかけます。



踏切事故防止キャンペーン デジタルサイネージ放映の様子

■実施期間

2023年1月21日(土)から1月30日(月)までの10日間

■実施内容

- ・列車内での車内放送による呼びかけ
 - ・特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
 - ・関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問しての呼びかけ
 - ・ラジオCMの放送
 - ・駅構内での踏切事故防止用ポスターの掲出
 - ・駅構内でのデジタルサイネージ等による踏切事故防止の呼びかけ(札幌駅他19駅)
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数の方と接触する駅構内・踏切等での啓発活動は中止しております。

<2022年度の踏切事故発生状況>

2022年度、1月13日時点で踏切事故は3件発生しており、昨年度の同時期と比較すると1件の増加となっております。過去5年間における冬期間(12月～3月)での踏切事故は9件発生しており、全体の約6割となっております。これから冬本番を迎え、路面凍結による踏切手前でのスリップ事故が懸念されます。

また、過去には視界不良による踏切内での車の脱輪や、踏切から線路へ進入し動けなくなり、列車と衝撃した事故も発生しています。

天候や路面状況に応じた慎重な運転を心がけ、踏切手前でのスピードダウンと早めブレーキによる確実な一旦停止と安全確認を呼びかけてまいります。